

全国父母懇談会私学助成をすすめる会交流集会広島大会の成功を力に!!

## 2023年 私学助成全国署名を配布しきろう!!

10月8日発信の「もみじ通信13号」が報じたように、「全国父母懇談会私学助成をすすめる会交流集会広島大会」は、25都道府県から315人が結集し、活発な議論と熱い交流で大成功を収めました。現地広島と中四国ブロックの奮闘を核にして全国が「参加」という形で生んだ成功は、同時に、「私学の無償化」の前進と私学助成大幅拡充への大きな期待の現れともいえます。この成功に応え「私学助成全国署名」のスタートが求められます

### 「私学助成」とその拡充を求める「署名運動」を父母・地域に広げよう

全国私学助成をすすめる会では、今年、国の「就学支援金」を「年収910万円未満世帯までを対象に授業料無償とする」制度拡充を求めるといふ政策を提起しています。この運動を前進させる原動力は、私学助成全国署名です。この制度拡充案は今年の請願項目に反映させています。

全国で取り組む今年の秋の私学助成全国署名は、この政策の実現を目指します。全国のすすめる会では、この政策とその賛同者を広げる主体者を増やすことが重要だと確認しました。そしてそのために、8月後半から9月に「私学の学費実態」とともに「私学」と「私学助成」情勢について共有する「学習会」を、**県単位、学園単位で開催していくこと**を全国課題として提起しました。これは全国交流広島大会でも確認されています。

愛知では、9月2日父母向け、9月10日高校生向け、9月29日教職員向けと県単位の学習会を3回開催したうえで、職員会議・職場集会など学園単位の学習会を36校で開催します。また、それとは別にPTA・父母懇の学習会を35校で開催することになっています。

私学に通う高校生、通わせる父母・保護者、私学で働く教職員にとって「私学助成制度」とその拡充は、足元・土台の最重要課題です。「私学助成」についての学習は私学人の基本といえます。どの県においても、学習会を旺盛に展開していきましょう!!

### 「学べ」ば「ジブゴト」、身体が動き出す

「年収910万円未満世帯まで授業料無償」を実現させるには、それだけの社会の声が必要です。それを形にするのが「私学助成全国署名」です。半世紀で5億筆を集約した実績があります。学習会で主体者を増やすとともに、**10月からはこの署名簿を配布しきる**こと、そして「私学助成制度」と「私学助成全国署名」を街に出て知らせ、**広げることが重要**になってきます。世論を興す取り組みです。



「推進ニュース7号」でも報じたように8月に「私学助成についての学習会」を実施した熊本の高校生は、9月以降10月7日まで街頭署名をすでに5回実施しています。中間試験と重なった学校が在った第5回を除いて、毎回集約筆数が伸びていっている取り組みになっています。9月16日の第3回は6校参加。100筆、150筆と積み重ね、第3回200筆、第4回270筆と伸びていったそうです。高校生も「何をどう伝えれば良いか」、街行く方に「どのように声をかけていくか」、「どう説明すれば理解を得られるか」を手に入れていっていると報告が届いています。



「学べ」ば、私学助成の問題が「ジブゴト」となり、**身体が動き出**します。学習会で自身の賃金の30~40%は「経常費助成」だと知った青年教員の署名活動が変化した例は枚挙に暇がありません。

**「学習会」に遅いは無い!!** 多忙な毎日、学習会を実施していない県、学園のみなさん。今からでも遅くはありません。署名簿の配布と並行して、学習会を計画しましょう!! 必要な資料は全国私学助成をすすめる会事務局にお問い合わせください。講師も派遣いたします。岐阜、新潟、広島、山口で県単位の学習会が計画され講師派遣も依頼しています。大阪の秋桜高校では、「府」の制度計画の問題もあり、学校の研修会に学習会を位置付け、全国私学助成をすすめる会から講師が派遣されました。**署名簿の袋詰め作業日等に学習会の設定を!!**

### 「世論づくり」「署名簿の配布」をやりきろう!! 10月期の最重要課題に!!

高校生は今年の取り組みに呼応し、高校生の求める未来とその実現に向け「学ぶ」ことの意味、そして学費実態についての「ナマの声」を「全国私立高校生1万人アンケート2023」で集約しました。そして20都道府県102校18000余人から集約した結果をもって、8月には6政党の国会議員に直接要請行動を行っています。

「私学助成署名」を前進させるには、学費実態と私学助成制度を知らせることが重要です。高校生が「ナマの声」を集めたのと同様に、私学の教職員ができる世論づくりとして

#### 「9月末学費滞納・経済的理由による中退調査」に力を入れていきましょう。

滞納・中退に至らなくても、進学資金づくり、それ以前に現在の学費負担のためにアルバイトに忙殺される**高校生の実態を把握**し、発信していきましょう!! 「9月末」の実態です。今すぐに学校事務局に確認しましょう。各県すすめる会事務局は、各学園に調査の進捗を確認していきましょう!!

「9月末学費滞納・経済的理由による中退調査」10.12到達点

千葉8校、青森7校、福岡3校、岡山2校、茨城・石川・熊本1校、7県23校

#### 10月中の私学助成全国署名必須課題

- 【1】署名簿を配布しきる
  - ① 学内配布にこだわる
  - ② 学園、PTAと連名の添書を求める
  - ③ 自主活動として、校門前配布も模索する
  - ④ 諸団体に協力を依頼しに訪問する
- 【2】世論をつくる
  - ① 街頭宣伝・署名の実施 (1回で終わらせず)
  - ② 学費滞納・中退調査を必ず実施する (急ぎ)
- 【3】「学習会」を開催する (小さい人数でも複数回)